

(様式1)

施設指定管理者モニタリングチェックシート

令和4年 4月～ 6月

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	社会福祉法人 豊明市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	豊明市長寿課

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	風呂は週3回実施。	A	風呂に関しては火木土で、5人制限としている。	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A	している。	
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A	職員は5名でなく4名(が正しい)のうち、常時2名体制をとっている。	
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A	上記内訳はボイラー・技士、看護師、准看護師。(残りは事務員)	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A	業務日誌と修繕記録を実際に確認・検閲した。	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A	防災防犯対策課の指導のもとR2年度に緊急事態発生時対処マニュアルが整備された。	
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		A	昨年同時期に比べ2000人増。	
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A		A	8月より名札を100円→200円に値上げ予定。	
	【保守点検並びに清掃業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A		A	体育館の指定管理者主体に定期的に行われている。	
	定期的に清掃、除草、剪定等が行われているか	A	樹木、枝伐採、除草など美化に努めている。大窓、中庭タイル、壁等のジェット洗浄。	A	老福C職員と社協で左記を実施。	
	異常、不具合等が発見した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	している。	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	感染症対策を行っている。	A	注意事項は掲示物にて行っている。	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A	風呂タイルの補修、黒カビの除去を実施。蛍光灯不点修理。	A	左記のとおり。	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A	修繕記録で管理を確認・検閲。	
	備品は適切に管理しているか	A		A	老福Cの備品台帳にて管理を確認・検閲。	
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A	している。	
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A	感染症対策を徹底した中で行っている。	A	可能な範囲で適切に実施されている。	
	自主事業は適切に実施されたか	A		A	コロナの影響で中止あるも動向を見ながら可能な限り実施。	
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A	鍵のかかる書庫で管理。	
	【①に係る指定管理者の自己評価】 6月以降風呂の人数制限解除など適切な状況判断を行い、コロナ感染拡大防止対策を継続実施。					
	【①に係る施設所管課の評価】 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努める中での開館業務であるが、時間短縮及び人数制限等しながら適正に運営ができています。修繕や点検も適宜行なわれており、可能な時は職員でも作業を行なっているため市民の苦情が発生する前に対処できています。帳簿や記録も適切に管理されており、この状態を維持していきましょうお願いします。				区分評価	A

区分	項目	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
② サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】				
	窓口対応は適切に行われているか	A		A	行なわれている。
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A	今後、実施予定。	A	コロナの状況見て1~2回実施したいとの事。
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A	第1四半期は無し。
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	らくらすバス事故で乗客前倒し事件、市に報告あり。
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のためセンター入口に手指消毒液を継続設置。	A	適正である。
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A	保たれている。
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A	今後、実施予定。	A	第1四半期は無し。
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】				
	困りごと相談窓口を開設し利用者の生活相談に応じている	A	月1回相談窓口を開設。	A	第2木曜に予約制で実施。HPと掲示物でも啓発している。
	健康啓発にて来館者の熱中症予防や感染症予防ができていますか	A	熱中症予防、感染症防止関係の指導徹底。	A	左記の他、掲示物や声かけも励行。
	福祉団体等の関係機関と連携協力し、利用者と地域社会が協働できる事業を実施している	A		A	連携・協働事業を行う為、その前の打合せを実施。
	HPによる広報・PR活動により利用者の増加	A	本会HP内に老人福祉センター情報を掲載。	A	左記による事などで試みている。
	【②に係る指定管理者の自己評価】 センター入口にて健康チェック及び検温を実施、また館内は窓を開け換気し新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。 適所に資格のある職員を配置し、利用者への対応が出来ている。 物販4~6月売上件数(コピー白黒397件、コピーカラー7件、タオル2件、名札11件)				
【②に係る施設所管課の評価】 この第1四半期は評価事項に乏しかったが、今後につながる運用だった事が理解できたし可能な限りサービスの質を保って運営が出来ていると思います。				区分評価	A
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B		B	黒字にはなっていないが、委託料の中でやりくりしている。
	必要な帳簿は備えられているか	A		A	売上帳簿や会計帳簿等があり、それを確認・検閲した。
	経理処理は適正に行われているか	A		A	行なわれている。
	収入増加のための取組がなされているか	A	物品価格の値上げ予定。	A	8月から名札100円→200円の値上げ予定。
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A	節電や裏紙利用。	A	可能な範囲でなされている。
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A	安定している。
	【③に係る指定管理者の自己評価】 事業運営に関して、健全で安定した運営を行うことができています。				
	【③に係る施設所管課の評価】 必要な帳簿はきちんと備えられており経営処理や団体経営が健全に行なわれています。今後も引き続き利用者に対して安定したサービスが提供されるようお願いします。				区分評価

【項目評価】

- S（優良）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A（良好）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B（課題あり）： 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善）： 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S（優良）： 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A（良好）： 項目評価が全てA以上。
- B（課題あり）： 項目評価にBがある。
- C（要改善）： 項目評価にCがある。